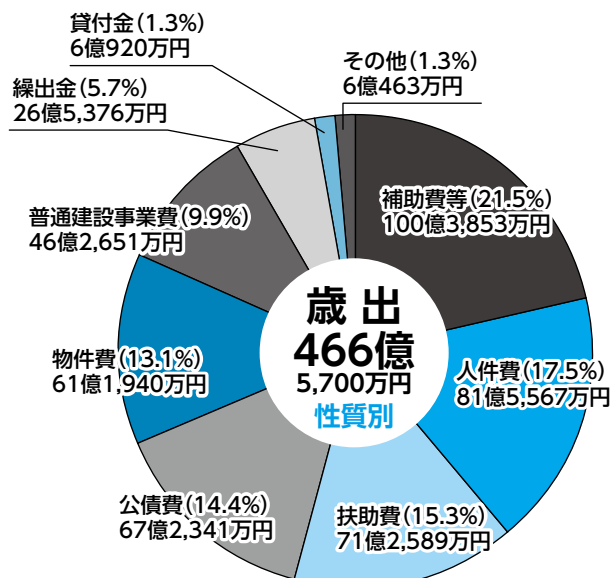
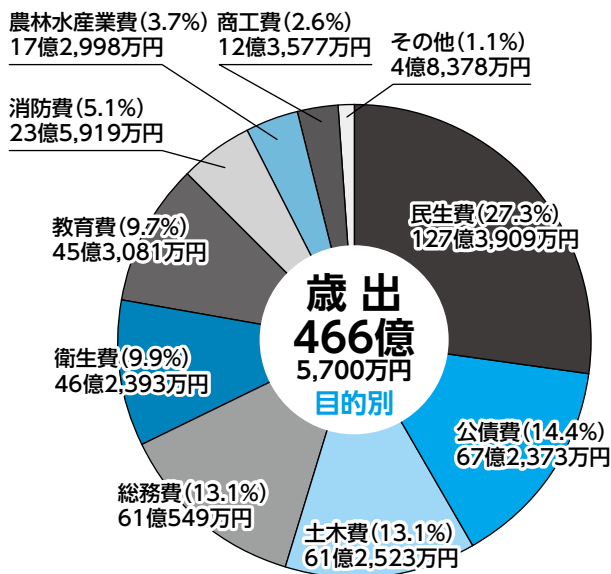
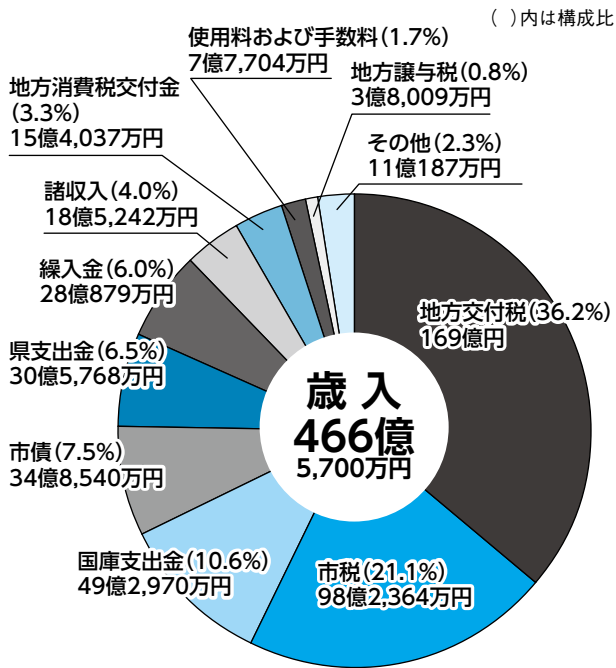


一般会計 歳入と歳出の内訳



各会計の予算と前年度との比較

各会計予算・前年度比較

会計	2019年度 (万円)	2018年度 (万円)	差額 (万円)	増減 (%)
一般会計	4,665,700	4,530,849	134,851	3.0
特別会計	1,987,263	1,953,499	33,764	1.7
国保(事業)	848,958	861,384	△ 12,426	-1.4
国保(直診)	8,731	8,893	△ 162	-1.8
後期高齢	124,599	118,583	6,016	5.1
介護	966,677	927,269	39,408	4.2
診療所	26,581	25,381	1,200	4.7
霊苑	790	1,062	△ 272	-25.6
太陽光	10,705	10,706	△ 1	0.0
管理会	222	221	1	0.5
企業会計	1,506,532	1,529,377	△ 22,845	-1.5
水道	378,636	390,775	△ 12,139	-3.1
下水	1,109,812	1,123,679	△ 13,867	-1.2
農業共済	18,084	14,923	3,161	21.2
合計	8,159,496	8,013,725	145,771	1.8

借金 市債の残高 (2019年度末見込額)

市民1人当たり133万円

一般会計	526億1,191万円
特別会計	7,815万円
企業会計	564億8,636万円
総額	1,091億7,642万円

貯金 基金の残高 (2019年度末見込額)

市民1人当たり24万円

財政調整基金	32億5,792万円
特定目的基金	145億707万円
定額運用基金	6億7,511万円
特別会計分	9億4,668万円
総額	193億8,678万円

※人口 81,929人 (2019年1月末現在の住基人口) で算出

2019年度 豊岡市予算(案)

小さな世界都市 - Local&Global City -

予算の総額は
815億9,496万円
前年度比1.8%増

一般会計	466億5,700万円	前年度比 3.0%増
特別会計	198億7,263万円	前年度比 1.7%増
企業会計	150億6,532万円	前年度比 1.5%減

※端数処理で合計が合わない場合があります。

2019年度基本姿勢

- 市民の日々の暮らしを着実に支え続ける。
- 基本構想に掲げる「小さな世界都市-Local & Global City-」を実現する。
- 地方創生に的確に対応する。
- 四つの危機(災害、コミュニティ、経済、財政)からの脱却を目指し、的確に対応する。

《問合せ》 財政課 ☎21-9014

予算の内訳

本市の会計には、一般会計、特別会計、企業会計があります。一般会計は、教育や福祉、土木など、市の基本的な行政運営経費を経理するものです。

特別会計、企業会計は特定の事業を行うために目的別に設け、受益と負担の関係を明らかにするために個別に経理するものです。

2019年度の予算は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせた12会計の総額が815億9,496万円の前年度比14億5,771万円(1.8%)の増としました。

それぞれの会計における2019年度予算は、次のとおりです。

一般会計

一般会計の予算額は466億5,700万円で前年度比13億4,851万円(3.0%)の増としました。

歳入では、市税は固定資産税が時点修正の影響などで減額となるものの、個人、法人住民税の増額で514万円(0.1%)の増、地方交付税は、普通交付税を地方財政計画による地方交付税総額の増加見込みと平成28年度から始まった合併算定替の段階的縮減などの影響も加味した上で2億4,000万円(1.4%)の増、地方譲与税および各種交付金は森林環境譲与税、環境性能割交付金の創設などで1億7,762万円の増としました。一方、市債は臨時財政対策債を減額としたことから3億7,330万円(9.7%)の減としました。

歳出では、地方創生事業として総額6億8,373万円を計上しました。また、目的別では、総務

費は、プレミアム付商品券事業などで7億4,443万円(13.9%)の増、土木費は、下水道事業会計への負担金の増加などで4億8,610万円(8.6%)の増、民生費は、障害福祉サービス費、幼児教育無償化等社会保障関係経費の増加で4億2,121万円(3.4%)の増としました。一方、教育費は、大型の建設事業の終了などで8億5,743万円(15.9%)の減としました。

この歳出を性質別にみた場合、扶助費は、障害福祉サービス費、児童保育運営事業費の増加などで3億3,389万円(4.9%)の増、人件費は6,349万円(0.8%)の増、公債費は1,679万円(0.2%)の減とし、扶助費に人件費、公債費を加えた義務的経費は全体で3億8,059万円(1.8%)の増としました。

また、普通建設事業費は、防災行政無線整備や橋りょう長寿命化事業を継続して実施する一方、中学校への空調設備整備、出石野球場整備の終了などで2億2,999万円(4.7%)の減としました。

特別会計・企業会計

特別会計の予算は8会計の総額が198億7,263万円で、介護保険事業特別会計における保険給付費、後期高齢者医療事業特別会計における後期高齢者医療広域連合給付金の増加などで3億3,764万円(1.7%)の増としました。

企業会計の予算は3会計の総額が150億6,532万円で、水道事業会計および下水道事業会計で企業債償還金を増額とした一方、建設改良費の減額などで、2億2,845万円(1.5%)の減としました。